

レボフロキサシン錠 250mg・500mg「タナベ」 腎機能低下患者投与時 用法・用量早見カード

【用法・用量】

通常，成人にはレボフロキサシンとして1回500mgを1日1回経口投与する。なお，疾患・症状に応じて適宜減量する。腸チフス，パラチフスについては，レボフロキサシンとして1回500mgを1日1回14日間経口投与する。

用法・用量に関連する使用上の注意（腎機能低下患者用）

- 腎機能低下患者では高い血中濃度が持続するので，裏面の用法・用量を目安として，必要に応じて投与量を減じ，投与間隔をあけて投与することが望ましい。

ニプロESファーマ株式会社

腎機能低下患者投与時 用法・用量早見カード

| 腎機能Ccr (mL/min) | 1日目 (初日) | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 |
|---------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| $20 \leq \text{Ccr} < 50$ | 500 mg | 250 mg | 250 mg | 250 mg | 250 mg | 250 mg |
| $\text{Ccr} < 20$ | 500 mg | 休み | 250 mg | 休み | 250 mg | 休み |

添付文書の〈用法・用量に関連する使用上の注意〉より

2LVFC305B- 2017年12月作成